

H27年度 人材育成講座

クローバーカルテッジ

～女性力向上計画☆～

平成27年9月8日(火)

～平成28年2月5日(金)

全7回



キラッ☆とよた

毎年恒例！人材養成講座「クローバーカレッジ」！

地域で活躍する女性の背中を押すための講座「クローバーカレッジ」、今年は「女性力向上計画」とサブタイトルに銘打ち、参加者それぞれが持つ「力」にさらに磨きをかけていただく半年間となりました。

学習の分野はさまざま。世の中の動きに敏感になれる、自分の意見をしっかり発言できる、話し合いの段どり上手になるetc・・・生活の中のあらゆる場面で役立つスキルの数々です！また、地元・豊田市の魅力を再発見できるようなカリキュラムも盛り込みました。

半年間の学習が終わると、参加者の全員が今までよりもっともっと前向きに、輝きに満ちていました。地元・豊田市で活躍する女性がどんどん増えていっています！

第1回 平成27年9月8日(火) 午前10時～正午
未来のイキイキをつくるカギは「女性力向上」にあり！
講師 城西国際大学 石田 路子さん

出席者 15名

●アベノミクスにはウイメノミクスが必須！

●様々な国際比較データの中の日本

☞「働く女性にとって有利な先進国ランキング」
26か国中25位

☞「企業などの役員会の女性比率」
ノルウェー40%超／欧米諸国15～20%／
日本2%弱

☞「男女給与格差比率」 北欧94%／日本70%

☞「ジェンダーギャップ指数」 142か国中104位

☞「男性の家事・育児時間」 欧米諸国(家事)2.5時間以上(育児)1時間前後
日本(家事)1時間(育児)30分



●女性の活躍が進んでいる北欧諸国の考え方

☞国民一人ひとりの教育を大切にしている
(大学まで学費無料、社会人になってから大学入学、転科が自由にできるなど、
一人ひとりの学歴の積み方について自由な感覚)

☞妻の転勤に伴い夫が退職するケースも多い

☞「社会全体で子どもを育てる」という感覚

☞M字カーブがほとんどない

●ワーク・ライフ・バランス

☞「大卒～60歳まで」の日本スタイルの働き方では、20～30年後日本は立ちいかなくなる

- ☞WLBは「未来への投資」
- ☞一人ひとりが子育て期、中高年期といった人生の各段階で多様な生き方が選択できる
- ☞介護離職の問題もある。日本は「他人が家に入ってくることを嫌がる」気質があり、ヘルパーさんと呼ぶなどの介護制度を活用できないケースも。
- 今こそ「女性力」の発揮どき！
- ☞社会には様々な問題があるが、結婚・出産・育児・介護...様々なライフイベントに対応してきた女性の経験や柔軟性こそ、必要とされている。

第2回 平成27年9月25日(金) 午前9時30分～午後1時
豊田をもっと知る！大人の遠足in足助 出席者 15名

講師 足助観光ボランティアガイド 安藤さん、成瀬さん

女性のボランティアガイドの方から、足助の町並みをガイドしていただきながら散策。知っているようで知らなかった豊田の魅力を再発見するとともに、地元で活躍する女性の存在を知りエネルギーをもらったり、受講生同士の交流も深まる回となった。



第3回 平成27年10月20日(火) 午前10時～正午

明日がもっと楽しくなる♪Win-Winコミュニケーション

出席者 15名

講師 NPO法人参画プラネット 代表理事 渋谷 典子 さん

●伝えても伝わらないコミュニケーション

- ☞「伝えたら」「伝わるはず」という思い込み・・・「伝える」と「伝わる」は違う！
- ☞コミュニケーション能力が高い人≠自分の意見がなんでも言える人、
自分の考えを押し通せる人、訴えられる人

●どうすれば伝わる？

- ☞伝わるまでの3つの壁・・・聞き手が「気づく」・「理解する」・「共感する」
共感を生むと、聞き手の行動に繋がる！
- ☞質問する・・・「伝える」ためには、実は「質問する＝聞く」ことが大切！
質問すれば、こちらの思いのまま情報を得られる、相手をその気にさせる、
人に好かれる、自らをコントロールできる、などのメリットが。

●傾聴、そしてアサーティブへ

- ☞アサーティブとは、「自分の表現する権利と相手の表現する権利を大切にした
コミュニケーション法」。
- ☞アサーティブの4つの柱・・・誠実＝自分にも、相手にも正直でいる
率直＝シンプルに伝える
対等＝権力がある人にもない人にも、男性にも女性にも
自己責任＝自分の発言からもたらされた結果には責任を
- ☞IメッセージとYouメッセージ
I「私は今寒いです。部屋の温度を上げてもらっていい？」
You「あなたが設定したエアコンの温度が悪いみたい。温度上げてよ。」
～どちらが【部屋の温度を上げる】という結果を得やすいか？～

●ロールプレイ

- ①地域で活躍する女性Aさんに対して、現在の自治会長(男性)から、
「自治会長を務めてほしい」と依頼する。



Aさんはとても頑
張って活動している
から、私は適任だ
と思うんだ。どうか
ね？
分からないことは聞
いてもらっていいし
私も手伝うから。

光栄なお話ですが、私に務
まるかどうか...。
知らないことも多いし、孫
の世話もありますから、誰
か補助をしてもらえると嬉
しいのですが。

第4回 平成27年11月17日(火) 午前11時～午後3時

はたらくって、「傍楽(はたらく)」なんです！ 出席者 10名

講師 NPO法人ブルーバード 代表理事 西尾 果小里 さん

●ワーク・ライフ・バランスってなあに？

- ☞ 仕事と生活の調和。
- ☞ 男性の育児参加、女性の活躍推進、仕事と介護の両立、メンタルヘルスなど... WLBにより豊かな生き方を目指す！
- ☞ WLBは、働いている人だけのものではない。パートタイマー、専業主婦の人にも自分事として考え、実践してもらいたい。



●女性の活躍が叫ばれているのはなぜか？

- ☞ 働き手の減少、増え続ける要介護者、制約社員の増加。
- ☞ 税金の貰い手から払い手になってほしい。
- ☞ 女性の感性が生きる時代！女性の就労による経済効果。

●女性の活躍、どう思う？(受講者意見)

- ☞ 男女関係なく、能力のある人がそれに見合った賃金をもらえるといい。
- ☞ 意欲のある人が活躍できる社会がいい。
- ☞ 今の政権(自民党)も男性が多いので、女性活躍と言ってもどこまで進むか心配。

●事業所訪問から見えてきたこと

- ☞ 平成25年度より、豊田市と共働で事業所訪問を行っている。リーマンショック時「社員教育」に力を入れてきたところが、今伸びている。イキイキした事業所かそうではないかは、その事業所の「風土」と「女性の活躍状況」に違いあり！
- ☞ 「はたらく人がイキイキ輝く事業所表彰」では、これまで説明した「女性活躍」「WLB」などに取組実績のある事業所にスポットを当てている。

はたらく人がイキイキ輝く事業所表彰 見学

受講者全員が制度自体を知らなかったということで、全員が新鮮で緊張した面持ちで見学！豊田市がこうした取組をしていることが嬉しく、誇りに思うという感想多数！！



第5回 平成27年12月8日(火) 午前10時～午後3時

言葉への「敏感力」を磨く 出席者 11名

講師 愛知淑徳大学 非常勤講師 中島 美幸 さん

●ことばの背景にあるのは...男女をめぐる社会の規則・意識

- ☞「女の腐ったようなヤツ」「女にしておくには惜しい」「女だてらに」
＝女性を男性よりも下に見た表現
- ☞「父兄」「主人」「嫁にやる・嫁をもらう」「入籍」「跡取り誕生」
＝明治憲法の「家父長制」の名残り表現



●レッテル貼りー社会の目を意識させられる女性たち

- ☞妻＝新妻・若妻・愛妻・悪妻・世話女房・恋女房・古女房
- ☞結婚しない女＝売れ残り・行き遅れ・行かず後家・オールドミス

●【ことば】の変革と【社会】の変革

- ☞ことばの言い換え
父兄→保護者、父母／入籍→婚姻届を出す、結婚する／未亡人→夫を亡くした人
保母→保育士／看護婦→看護師
- ☞新たなことばを造る
買春／濡れ落ち葉・わしも族／「痴漢は犯罪です」／セクハラ／DV／ストーカー

●教科書というメディアーどう読む？どう教える？

- ☞登場人物の性別は、圧倒的に 男>女
男性の登場人物は、職業、活躍の仕方が多種多様。はつらつとしている。
女性の登場人物は、「母親」だったり「病気がち」だったり、子どもを守るために命を落としたりする。はかなげな印象。
固定的性別役割分担意識の存続が、特にメディアや教科書、教材に反映している。
これでは、子どもたち(女の子たち)が自分の将来にポジティブなイメージを抱けない！

●ワーク「小2国語教材『きつねのおきゃくさま』どう読む？どう教える？」

- ☞物語あらすじ
 - ・ずるがしこいキツネが、か弱いヒヨコを捕食しようと、親切なふりをして騙して家に連れ込む。
 - ・純粋なヒヨコは、キツネが自分を守ってくれているのだと信じて疑わず、森の仲間たちに「キツネお兄ちゃんは親切」と言って回る。
 - ・ある日、オオカミに襲われそうになったヒヨコを、キツネが助け、死んでしまう。ヒヨコはキツネに感謝の意を抱く。
- ☞性別役割分担意識
キツネは男、ヒヨコは女として描かれている→「女性は簡単にだまされる」
- ☞現代社会を踏まえて、この教材をどう伝える？
現実には「知らない人にはついて行かない」と教えておきながら、誘拐犯のようなキツネに「ありがとう」と言わせる。矛盾していない？

ふるさとの味☆プチ体験 五平餅づくり

講師 豊田五平餅学会 稲石 大輔さん

豊田が発祥と言われている「五平餅」の歴史や、地域ごとに様々な味付けで親しまれていることなどのレクチャーを受けた後、調理開始！



第6回 平成28年1月12日(火) 午前10時～正午

わたしも今日から！会議の達人♪ 出席者 11名

講師 NPO法人参画プラネット 代表理事 渋谷 典子 さん

●会議には4つの段階と、それぞれにポイントがある！

- ☞①共有...「今日の議題は〇〇です」
- ②拡散...色々な意見が出る
- ③混沌...色々な意見が出尽くし、「う～ん...」となる
- ④収束...結論に持っていく

●参加者が会議をつくる？！

- ☞会議は、スペシャルな議長だけでは成立しない。意欲的な参加者によって成立する！
- ☞会議を自分のものにするには...
うなづく／質問する／共通点を口にする／他者を否定しない／資料は事前に読んでおく
(どんなに周りが不機嫌そうでも)機嫌よく始める／

●模擬会議を体感！

「豊田市で女性の活躍を進めるためには？」



第7回 平成28年2月5日(金) 午前10時～午後3時

未来の豊田はわたしが創る！ 出席者 9名

講師 城西国際大学 教授 石田 路子 さん

●男女共同参画推進懇話会傍聴

☞「仕事と介護生活の両立等に関する実態調査」についての報告を傍聴

●豊田市で公募委員を募集している審議会等についての説明

☞都市計画審議会／環境審議会／職員推進会議／市街地緑地保全審議会／生涯学習審議会／男女共同参画推進懇話会

これからの私

●第4次男女共同参画基本計画が策定

- ☞男性中心型労働慣行を変革
- ☞管理職(課長級以上)で女性が占める割合を上げていく
- ☞男性の育児休業取得率を上げていく

●女性活躍推進法

●これからの目標(受講生より)

- ☞男女共同参画という分野は全く興味がなかったが、気づいたら関心事になっていた。受講生の皆から刺激もらった。
- ☞自分の中での常識が変わった。地域との交流とか、パートナーシップを大切にしたい。
- ☞どんなスタイルでもよいから、社会とのかかわりを絶やさずに生きていきたい。
- ☞結婚前は正社員で働いていたが、出産を機に退職、今はパートで働いている。そんなパートの立場の自分に引け目を感じていたが、この講座をきっかけに、最近では女性ならではの働き方、自分らしい働き方があるのではと思えてきた。4月から、元々の専門領域の仕事に携われることになったので、頑張りたい。
- ☞カレッジで人生が変わった。何事にも前向きになれる意欲が湧いてきた。参加して良かった！来月から資格取得のために専門学校に通うことにした。月1回のこのカレッジが本当に楽しく、自分が自分でいられた。
- ☞夫がパーキンソン病になり、介護をしながら通った。大変だったが、これからも学び続けたい。
- ☞受講前に想像していた「女性力」とはずいぶん違った。すごく嬉しく、感動した。カレッジで習った内容は、全て自分が若い頃に感じていたこと。くすぶっていた思いが、間違いではなかったのだと分かった。介護もWLBも、本当に学べてよかった。審議会の公募委員にも応募してみたい。

★☆☆講座修了後、有志の受講生により、来年度開催予定の「さんかくフェスタ」に出展することが決まりました。
受講生の皆様の今後の活躍が期待されます☆☆★



受講後の感想【抜粋】

●第1回●

- ・世界と日本との比較で日本の立位置がわかった。
- ・日本と諸外国のジェンダーギャップの差を見て驚いた。
- ・女性が社会で働くことの意義をすごく感じた。

●第2回●

- ・受講生の皆とより身近になり、いろいろな話ができよかった。足助の町並みも素敵で貴重な体験ができた。
- ・ずっと行きたかった足助の町並みをゆっくり歩いてよかった。
- ・新しい発見があった！

●第3回●

- ・アイメッセージ、日頃から気をつけていましたが、今日改めてやれていないところ、自分の苦手なところに気づきました。
- ・“共感を得るコミュニケーション”の大切さが分かりました。
- ・アサーティブという言葉が今まで知らなかったのが今後コミュニケーションを取る上で非常に役立ちました。
- ・ロールプレイ難しかったです。

●第4回●

- ・まさに！女性は家族の年齢(子どもや親)によって自分のキャリアが左右されやすい立場。
- ・ワーク・ライフ・バランスを上手く取れる社会ができるといいなと思った。
- ・事業所表彰という取組があり、はたらく人がイキイキ輝く事業所が少しでも身近に感じることができた。キラキラのエネルギーを受け取ることができた。

●第5回●

- ・言葉の理解はいろいろでき、解釈の違いを知ることができた。
- ・何気なく使っている言葉の意味を深く考えるきっかけになった。特に子ども(男女)への教育、言葉がけを気遣いたい。
- ・豊田の郷土料理を深く知ることができた。
- ・皆で作って、笑って、楽しんで、いい時間だった。またやってみたい。

●第6回●

- ・皆でディスカッションをする人と色々な立場の方の意見が聞けて楽しかった。
- ・この講座に参加しなければ知ることができなかつたことが知ることができ良かった。

●第7回●

- ・様々な世代の方々と交流し、介護の話など聞いてよかった。この先自分に直面する課題も発見できた。
- ・男女共同参画について、現状や今後の取組の必要性を強く意識する良い機会になった。

